

## 月・惑星探査データ閲覧・共有・解析システム WISE-CAPS の開発状況 The current situation of implementation of WISE-CAPS: browsing, sharing and analyzing environment for lunar and planetar

寺園 淳也<sup>1\*</sup>, 平田 成<sup>1</sup>, 中村 良介<sup>2</sup>, 小川 佳子<sup>1</sup>, 山本 直孝<sup>2</sup>, 出村 裕英<sup>1</sup>, 児玉 信介<sup>2</sup>

Junya Terazono<sup>1\*</sup>, Naru Hirata<sup>1</sup>, Ryosuke Nakamura<sup>2</sup>, Yoshiko Ogawa<sup>1</sup>, Naotaka Yamamoto<sup>2</sup>, Hirohide Demura<sup>1</sup>, Shinsuke Kodama<sup>2</sup>

<sup>1</sup> 会津大学, <sup>2</sup> 産業総合技術研究所

<sup>1</sup>The University of Aizu, <sup>2</sup>National Institute of Advanced Industrial Science and Technology

我々は、ウェブブラウザを通して、月・惑星探査データを閲覧・共有・解析できる環境として、WISE-CAPS (Web-based Integrated Secure Environment for Collaborative Analysis of Planetary Science) の開発を進めている。本環境はウェブ GIS をベースとしており、ここに様々な付加ソフトウェアを加えた、完全なオープンソースベースの環境である。この環境は、これまでの月・惑星探査のデータ解析とは異なり、解析に必要とされる様々な作業をすべてウェブブラウザ上で行うことを目的としており、ローカルコンピュータを使用することなく、解析後のデータの共有や閲覧、さらには解析作業そのものをもサーバ上で実施することを考えている。これは、現在一般的になりつつあるクラウドコンピューティングの考え方に近いものであるが、月・惑星探査分野で必要とされる様々な特殊なニーズを取り込みながら、この分野の科学者たちがもっとも使いやすいような環境にすることを目指している。

本講演では、昨年以降本システムにおいて実装された内容を中心として、WISE-CAPS の開発状況について報告する。我々は、現在、WISE-CAPS システムにおいて、Web API の実装、ウェブブラウザ内でのプログラミング環境の構築などを進めているほか、従来から進めている各種の機能の向上にも引き続き力を注いでいる。また、より強力なシステム構築を目指し、システム自体の改良も随時推進している。発表では、これらの成果について最新の状況を報告する予定である。

あわせて、こういったクラウドベースでの解析環境について、将来的な方向性についても述べる。

キーワード: 月探査, 惑星探査, データ解析, データキュレーション, データアーカイブ, クラウドコンピューティング  
Keywords: lunar exploration, planetary exploration, data analysis, data curation, data archive, cloud computing